

治山と林道



令和3年5月20日 第71回全国植樹祭 会場（大田市三瓶山）

目次

令和3年度通常総会を開催	1
県からのお知らせ（林業課・森林整備課）	3
会員コーナー（松江市）	10
県の取り組み紹介（東部農林水産振興センター出雲事務所）	11
トピックス（県土整備事務所）	12
森林協会からのお知らせ	14

令和3年度通常総会を開催

令和3年7月30日、島根県林業会館において令和3年度通常総会を開催しました。

今年度も昨年と同様に新型コロナウイルス対策の面から規模を縮小して開催することとし、優良工事及び業務の表彰式を取り止め、基本的な感染対策を講じた上開催しました。

開会に当って、楫野会長から「7月6日からの大雨により県東部を中心に県下各地で甚大な被害が発生した。被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧を願っている。

このように近年、想定を超えた自然災害が多発する現状に鑑み、治山事業や森林整備事業の一層の推進を図る必要があると考えている。一方、人工林の多くが利用期を迎え、島根県では全国に先駆け循環型林業の実現に向けて、伐採の促進、路網整備、木材の利用拡大など様々な森林・林業施策が展開されている。

こうした中、5月30日に大田市の三瓶山北ノ原を会場に第71回全国植樹祭が開催された。循環型林業を象徴的にPRした「お野立所」は、今週秋オープン予定の道の駅「ごいせ仁摩」に移築される。皆様方にもぜひ足を運んでいただきたい。

当協会は、森林・林業施策の充実・強化と予算確保に向け、今後とも国、県へ要望活動を行っていくとともに、運用開始から3年目を迎えた森林経営管理制度が円滑に進むよう「森林経営推進センター」が引き続き市町村の業務を支援していくこととしている。会員の皆様をはじめ、関係の皆様方には、今後とも引き続きご理解とご協力をお願いする。」旨の挨拶がありました。

続いて、林野庁近畿中国森林管理局島根森林管理署津田署長様、島根県農林水産部前島次長様から御祝辞を頂いた後、議事に入り、提案した6議案は全て提案どおり承認されました。



会場の様子



楫野会長挨拶



島根森林管理署津田署長

令和3年度 協会長表彰

■治山工事

工事名	施工場所	受賞者（代表者）
復旧治山事業（山奥1工区）外工事	松江市鹿島町上講武外	アサヒ工業 株式会社 代表取締役 實重 正樹
林地荒廃防止事業（東持田）山腹工事	松江市東持田町	株式会社 ノリコー 浜南ダイア 代表取締役 高橋 修一
予防治山事業（仏谷奥地区）溪間工事	飯石郡飯南町八神	株式会社 藤原建設 代表取締役 藤原 昌一
予防治山事業（奥の谷）溪間工事	出雲市大社町修理免	有限会社 金築組 代表取締役 金築 清
災害関連緊急治山事業（小弁堂）山腹工事	出雲市佐田町上橋波	今岡工業 株式会社 代表取締役 今岡 幹晴
復旧治山事業 熊見地区岡屋谷工区 治山ダム工事	邑智郡美郷町熊見	岡山産業 有限会社 代表取締役 岡山 勝樹
復旧治山事業 橋の谷地区 溪間工事	江津市桜江町谷住郷	有限会社 住江建設 代表取締役 田中 聖
復旧治山（横尾1工区）その2工事	隠岐郡隠岐の島町那久路	柴木建設 株式会社 代表取締役 柴木 愛子

■治山木材使用工事

工事名	施工場所	受賞者（代表者）
海岸防災林造成事業（湊原）森林整備工事	出雲市大社町杵築西	島根県出雲県土整備事務所 農林工務部治山・林道課

■林道維持管理

路線名	所在位置	受賞者（管理者）
嘉年坂線	鹿足郡津和野町吹野	津和野町長 下森 博之

■林道工事

工事名	施工場所	受賞者（代表者）
県営林道開設事業 北山線道路改良工事	松江市島根町加賀外	松江土建 株式会社 代表取締役社長 川上 裕治
林道開設事業 宮本聖谷線道路工事	出雲市多伎町奥田儀	株式会社 安井組 代表取締役 安井 和宏
広域基幹林道整備事業 金城弥栄線 第2工区 その16道路工事	浜田市金城町波佐	株式会社 ハナオカ工務店 代表取締役 畑岡 憲治
広域基幹林道整備事業 匹見美都線（橋梁下部工）工事	益田市匹見町道川	前田建設 有限会社 代表取締役 前田 隆雄

■林道木材使用工事

工事名	施工場所	受賞者（代表者）
林道整備交付金事業 三子山線（第1工区）工事	鹿足郡津和野町須川	島根県益田県土整備事務所 農林工務部治山・林道課

■森林土木部門業務

業務名	業務場所	受賞者（代表者）
緊急予防治山事業（川西地区）測量・設計業務	仁多郡奥出雲町下横田	株式会社 日本海技術コンサルタンツ 代表取締役 中田 昭彦
林地荒廃防止事業（唐川）測量・設計等業務	出雲市唐川町	島建コンサルタント 株式会社 代表取締役 多久和 豊
緊急予防治山事業 金洞寺地区 測量設計業務	邑智郡美郷町都賀本郷	同上
林業専用道整備事業 高丸山線 路線測量設計業務	江津市松川町	株式会社 日西テクノプラン 代表取締役 田中 賢一
災害関連緊急治山（夕月）測量設計業務	隠岐郡隠岐の島町都万	株式会社 ワールド測量設計 代表取締役 和田 晶夫

※「受賞者（代表者）」欄は、対象工事・業務の竣工・完了時点の代表者を記載しています。

第71回全国植樹祭について

島根県林業課全国植樹祭スタッフ

「木でつながう 人と森との 縁（えにし）の輪」をテーマに第71回全国植樹祭を令和3年5月30日に大田市三瓶山で開催しました。全国植樹祭は、豊かな国土づくりに大切な森林・緑への理解を深めるための国土緑化運動の中心的行事で、島根県での開催は昭和46年以来50年ぶり2回目となりました。

この大会は、当初令和2年5月31日に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大傾向を踏まえ、1年間の延期となりました。

延期決定後は、当日招待者の規模縮小や映像等を活用した式典行事の見直し、おもてなし広場の廃止など徹底した新型コロナウイルス感染症対策に取り組んで参りました。しかしながら、緊急事態宣言の発出など新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことから、オンラインでの行幸啓となりました。

式典当日は三瓶会場と東京会場をオンラインで結び、東京会場において、天皇陛下におことばを賜るとともに、天皇皇后両陛下にお手植え、お手播きを、天皇陛下には全国植樹祭史上初めて御収穫を行っていただきました。天皇陛下に御収穫いただいたクロマツは、昭和46年の第22回全国植樹祭で昭和天皇が植えられ、平成3年第15回全国育樹祭で当時皇太子であった天皇陛下がお手入れされた木です。



大会当日の様子



丸山島根県知事あいさつ



御収穫クロマツの全景



天皇陛下による御収穫



天皇陛下によるスギのお手植え



皇后陛下によるヤマザクラのお手植え

また、昭和 46 年第 22 回大会で招待者が植樹したクロマツを収穫し、お野立て所の一部や式典木製品に利用するとともに、収穫した場所に再び今大会の植樹をいただくことで、本県が全国に先駆けて進める「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を全国に広く発信しました。お野立て所は、大田市仁摩町に令和 4 年 1 月開業予定の道の駅「ごいせ仁摩」へ移築し、植樹祭の意義を後世に伝承することとしています。



お野立所



お手植え箱 御鋤台 お手播き箱（手前から）

お手植え、お手播き及び御収穫の行事では、大田市内の緑の少年団の 16 名の子供達が、天皇皇后両陛下に、樹種の説明を行うとともに「豊かな未来の森を育む」誓いの言葉を発表し、天皇陛下から「丁寧に説明をして頂きありがとうございます。緑を守り、育てる気持ちを大切に持ち続けて頂きたいと思います。」と画面越しにお声を掛けられる場面もありました。



天皇陛下お手植え樹種を説明する緑の少年団



緑の少年団にお声かけなされる天皇陛下

式典は、島根の森林林業の未来を担う島根県立農林大学校の学生による大会宣言で締めくられました。

三瓶会場では、県内外から約千人の招待者にご参加いただくとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当日お越しいただけなかった県外招待者はオンラインでご参加いただきました。

あわせて、式典当日までの 100 日間、県内各地で行った県民参加植樹イベントでは延べ 3500 人の方に植樹いただき、県民参加の森づくりを推進しました。

最後に、本大会の開催にあたりまして、多大なご支援をいただきました関係の皆様に深く感謝を申し上げます。



大会宣言をする島根県立農林大学校の学生



大会当日の記念植樹

令和3年7月から8月に発生した治山関係災害について

島根県農林水産部森林整備課 治山グループ

はじめに

本年は7月から8月にかけて、県内各地で土石流や山崩れなどの土砂災害が相次いで発生しました（412箇所、59億円の被害）。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

一連の災害の特徴としては、いずれも記録的な大雨が県内各地で発生し、近年に無い多数の山地災害が発生したことがあげられます。

現在、緊急に対策を必要とする35箇所について、災害関連緊急治山事業及び災害関連緊急地すべり防止事業で国の採択を受け、測量設計を開始しました。

その他の被災箇所においても、各市町村、関係機関と連携をとりながら対策を進めてまいります。

今回の災害について、以下のとおり概要を報告します。

令和3年度 災害関連緊急治山事業等 採択箇所一覧 単位：千円

災 害 市 町	7月豪雨						台風第9号				8月豪雨			計
	雲南市	奥出雲町	飯南町	出雲市	美郷町	小計	江津市	隠岐の島町	西ノ島町	小計	津和野町	隠岐の島町	小計	
箇所数	12	3	6	4	5	30	1	1	1	3	1	1	2	35
事業費	628,689	161,045	349,812	212,781	351,916	1,704,243	60,196	85,207	78,255	223,658	154,898	56,727	211,625	2,139,526

1. 7月4日から13日にかけての梅雨前線災害

梅雨前線が島根半島から中国山地に停滞し、その前線に湿った空気が流れ込み不安定な気象条件となりました。この間7月7日と12日の2度も激しい雨があり、島根県の東部を中心に最大、時間86ミリ、24時間で200ミリを超える豪雨となりました。

この豪雨により、326箇所50億円の被害が発生しました。

単位：千円



山崩れによる市道被災状況（出雲市古志町）

市町村名	箇所数	被害額
松江市	46	486,500
安来市	22	94,600
雲南市	168	2,304,500
奥出雲町	4	180,000
飯南町	12	536,000
出雲市	36	795,000
大田市	9	117,000
川本町	5	33,500
美郷町	17	478,300
邑南町	4	12,000
浜田市	2	15,000
津和野町	1	4,000
計	326	5,056,400



土砂の流出による被災状況（雲南市三刀屋町）



土砂の流出による被災状況（雲南市三刀屋町）



土砂の流出による被災状況（左）と上流部の荒廃状況（右）（飯南町八神）

2. 8月8日から9日にかけての台風第9号災害

8月4日に発生した台風第9号は、8月9日広島県から進み、中国地方で温帯低気圧に変わり日本海へ抜けました。島根県では広い範囲で降雨があり、特に隠岐地方では、最大、時間69ミリ、24時間で480ミリを超える豪雨となりました。

単位：千円

市町村名	箇所数	被害額
松江市	1	8,000
大田市	2	1,000
川本町	5	34,600
邑南町	1	500
浜田市	23	113,000
江津市	4	67,000
隠岐の島町	5	116,000
海士町	7	17,000
西ノ島町	4	69,000
知夫村	1	3,000
計	53	429,100



山崩れによる家屋等被災状況（隠岐の島町北方）



土砂の流出による被災状況（江津市桜江町）

3. 8月12日から18日にかけての豪雨災害

西日本に前線が停滞し、その前線に湿った空気が流れ込み不安定な気象条件となりました。前線の活動が活発になったことから島根県の広い範囲で大雨となり、台風第9号の直後でもあり、豪雨で地すべりや土砂の流出等が発生しました。

単位：千円

市町村名	箇所数	被害額
雲 南 市	18	262,000
奥 出 雲 町	7	47,200
浜 田 市	1	8,000
江 津 市	1	8,000
津 和 野 町	1	100,000
隠岐の島町	1	50,000
海 士 町	4	11,000
計	33	486,200



地すべりによる林道被災状況（津和野町富田）



地すべりによる市道等被災状況（隠岐の島町湊）

4. 林野庁近畿中国森林管理局との被害調査

以上の豪雨による被災状況の確認のため、8月27日に林野庁近畿中国森林管理局と合同でヘリコプターによる上空からの調査を実施しました。



ヘリコプター調査の写真（雲南市三刀屋町）

5. 今後の復旧について

本年の山地災害は、箇所数と被害額で近年まれに見る大規模なものとなりました。森林整備課では、災害復旧事業の平準化を図るため、当年災のみを対象としていた県単林地崩壊防止事業や県単自然災・施行地管理事業の一部を次年度予算での対応を予定しています。今後、各市町村や関係機関と連携して計画的な復旧を目指します。

また、島根県森林土木技術協会の会員の皆様におかれましては、早期の被害状況の把握や治山施設の緊急点検など、ご協力いただきありがとうございました。

引き続き早期復旧のため、ご協力のほどよろしくお願いします。

令和3年発生的林道施設災害について

島根県農林水産部森林整備課 林道グループ

島根県の令和3年林道施設災害は、7月4日から13日にかけての梅雨前線豪雨により県東部を中心に、8月8日から9日にかけての台風9号及び8月12日から18日にかけての豪雨により県西部・隠岐を中心に、合計221路線1,111箇所、約34億2千万円の記録的な被害になりました。これらの災害のうち、国庫補助的林道施設災害復旧事業の採択が可能な箇所は、災害査定を受け、3ヶ年以内に復旧することとなります。本稿では、被害状況と合わせて、災害発生直後のトピックスを報告します。

1. 市町村別・災害別の林道施設被害

市町村	梅雨前線豪雨災害 (令和3年7月4日～13日)			台風9号災害 (令和3年8月8日～9日)			8月豪雨災害 (令和3年8月12日～18日)			令和3年災害合計		
	路線数	箇所数	被害額 (千円)	路線数	箇所数	被害額 (千円)	路線数	箇所数	被害額 (千円)	路線数	箇所数	被害額 (千円)
松江市	8	32	208,530				2	2	780	10	34	209,310
安来市										0	0	0
雲南市	10	103	335,400				1	2	5,200	11	105	340,600
奥出雲町	4	8	19,000				1	1	8,000	5	9	27,000
飯南町	15	93	320,300							15	93	320,300
出雲市	29	137	634,000							29	137	634,000
大田市	3	31	30,000							3	31	30,000
川本町										0	0	0
邑南町	12	31	21,920	13	31	22,970	17	58	122,340	42	120	167,230
美郷町	4	28	54,000							4	28	54,000
江津市				2	2	780	3	3	48,000	5	5	48,780
浜田市	4	4	7,800				21	52	325,650	25	56	333,450
益田市							8	31	16,900	8	31	16,900
津和野町				4	4	1,200	6	14	221,400	10	18	222,600
吉賀町							1	10	30,800	1	10	30,800
隠岐の島町				5	26	98,540	35	278	586,400	40	304	684,940
西ノ島町				4	99	220,900	4	4	1,000	8	103	221,900
海士町				2	2	600	3	25	82,100	5	27	82,700
知夫村										0	0	0
合 計	89	467	1,630,950	30	164	344,990	102	480	1,448,570	221	1,111	3,424,510



法面の崩壊状況（飯南町）



路体の流出状況（出雲市）



法面の崩壊状況（松江市）

2. 支援協定に基づく被害調査

林道施設は原木生産のための重要なインフラですが、災害発生時には、公共土木施設や住宅の被害調査のほうに人手が取られてしまいます。本年の一連の災害でも、多くの市町で林道施設の被害調査が後回しになっていました。

こうしたなか、島根県森林協会と島根県森林土木技術協会の各位には「森林土木技術支援に関する協定」に基づき、特に被害の激しかった雲南市、出雲市、飯南町において、迅速に被害調査にあたっただき、心より感謝申し上げます。



支援協定に基づく被害調査の様子

3. 応急工事による孤立集落の解消

7月豪雨により林道が寸断され、出雲市と美郷町で2つの集落が孤立状態になりました。いずれも地元建設業者の協力によって応急工事が行われ、速やかに交通が回復しました。



被災直後（美郷町）



応急工事中



応急工事完了

4. 県有林内の林道施設災害

7月豪雨により県有林内の林道12路線、51箇所が被災しました。特に島根県民の森のなかの林道については、林業の用に供するだけでなく、森林セラピーをはじめとする憩いやレクリエーション利用の入込客があり、県有林管理スタッフ直営で早々に崩土の除去が行われました。被災した林道の本復旧は災害査定を受け、年度内に工事着手の予定です。



県有林管理スタッフ直営による崩土除去

5. 地すべりによる大規模被災

8月豪雨により津和野町の林道沿いの山腹で、幅40m・斜面長75mの地すべり災害が発生しました。被害額は約2億5千万円で、地すべり活動が終息後、上部を治山事業で、下部を林道事業で復旧します。



地すべり末端部の押し出し



地すべり頭部の滑落崖

6. 隠岐地方の連年災害

昨年の災害復旧の途上にある隠岐地方は、8月豪雨により2年連続で大きな災害に見舞われました。本土の災害の影響もあり、県内の林道施設災害では初めてとなる簡素化査定の適用を受けることになりました。



路肩の崩壊状況（海士町）



令和2年災の現場にあった重機転倒（隠岐の島町）

7. 今後の復旧に向けて

災害査定を終えた林道施設は、公共土木施設や農地・農業用施設など、他の災害と調整を図りながら復旧工事を進めていくことになります。

令和3年は、近年の災害とは桁違いに多数の林道施設災害が発生しました。早期復旧に向けて各市町や関係機関と連携し、全力で取り組んで参りますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

大規模木造建築整備における森林担当部局の取り組み

松江市産業経済部農林基盤整備課 松尾 俊明

- 木材のほとんどを島根県内から調達(フローリング、建具等一部を除く)、うち松江市産材 10% 使用



はじめに

松江市では、令和3年4月に開校、開園、開所した義務教育学校「玉湯学園」、「たまゆ幼稚園」、「玉湯児童クラブ」の整備に当たり、校舎、園舎の大部分を木造として建築しました。

大規模木造建築の整備に当たり、森林担当部局としての農林基盤整備課の取り組みについて紹介します。

概要

事業期間

H27 ～ R2（6年間）

建物概要

校舎

W 造（一部 RC 造及び S 造）3 階一部 2 階建て
6,356㎡

屋内運動場

RC 造（一部 W 造）2 階建て
1,420㎡

幼稚園舎（児童クラブ含む）

W 造一部 2 階建て
994㎡

計
8,770㎡

使用木材量（製品ベース）

種類	産地	使用量
集成材	隠岐産材	1,511㎡
製材		595㎡
	うち松江市産材	220㎡
	うちその他県産材	375㎡
計		2,106㎡

アピールポイント

- 校舎、園舎の大部分を木造として建築
- 屋内運動場についても RC 造を基本としながら木材も最大限活用

木材調達の取り組み

松江市の取り組み

松江市としては、平成以降初の大型木造建築となるため、木材の調達、発注方法、品質管理等、克服すべき課題が山積していたことから、これらの課題解決のため、平成 28 年度から木材活用協議会を立ち上げ、事業担当課、建築担当課、木材協会、森林組合等が一堂に会し、事業推進の一体感の醸成、木材調達計画の立案を行いました。

発注方法としては、松江市初となる木材調達と建設工事を分離する分離発注方式を採用し、地域産材の調達期間を確保した工程としました。

また、木材調達計画、発注方法の決定には、林野庁補助事業である「木造公共建築物の整備に係る設計段階からの技術支援」による支援を受けました。

品質管理では、事業担当課、建築担当課、木材協会、設計事務所、建設会社が協議する設計協議会により、品質管理方法、納材方法について協議を行いました。

そのほか、原木調達スケジュールを管理する木材調達打合せ会により、原木調達のフォローアップを行いました。

農林基盤整備課の取り組み

松江市の森林担当部局である農林基盤整備課として、上記のうち木材活用協議会及び木材調達打合せ会の事務局を担当し、関係機関の連携強化を行いました。大型木造建築整備には、関係機関の連携強化が不可欠であることから、農林基盤整備課がその橋渡しを担いました。



重宝しています！「森林機能・治山施設実演模型」

島根県東部農林水産振興センター出雲事務所 林業普及第一課

島根県では林業の担い手確保を目的として、昨年度から高校生の林業教育に力を入れています。この取組と並行して、出雲管内には以前から森林林業教育に熱心な小中学校が複数あり、当事務所は「森林機能・治山施設実演模型」を活用して学習活動をサポートしています。ここでは2つの事例を紹介します。

1. 出雲市立佐田中学校の森林・林業体験活動

【事前学習：R3年4月23日（金）／間伐体験：R3年5月11日（火） 3年生27名】

山に囲まれ、身近に森林を感じることができる佐田中学校では、健全な森林と不健全な森林の違いや間伐の必要性などについて質問すると、生徒たちからの確かな答えが返ってきます。

後日、地域のコミュニティーセンター、出雲地区森林組合、佐田町建築組合など多くの関係者の協力を得て、市有林で間伐体験を行いました。間伐したスギ材は、地域の製材所で加工された後、生徒たちが木製ベンチやプランターを作成して公共施設に寄贈します。



模型でリアルに体験



後日、山で間伐体験

2. 出雲市立神戸川小学校の森林と川の学習

【R3年9月24日（金）、30日（木） 4年生87名】

出雲平野にある神戸川小学校では、学校の名前となっている“神戸川”について学習する中で、神戸川再生推進会議の方から「森は海の恋人 神戸川を良くしていくには、山を勉強することが大切」と教えられたそうです。

そこで、当事務所に「森の働きを知ろう」と題した授業の依頼がありました。

子供たちは、実演模型を使った学習に興味津々で、下草や動物の有無、林内の明るさなど、模型から分かる様々な違いを熱心に探していました。



模型に興味津々



質問にもハキハキ回答

3. 若手林業職員育成の場

行政マンは人前で話し、分かりやすく伝えることが重要です。小中学校の児童、生徒を対象に、限られた時間の中で説明することは貴重な体験になります。「森林機能・治山施設実演模型」は臨場感が得られ、森林の役割を分かりやすく伝えるツールとして絶大な力を発揮します。これからも、この模型を使って森林の役割を伝えるとともに、若手林業職員の育成にもつなげていきたいと思います。

治山・林道1年目職員を紹介

出雲県土整備事務所 治山・林道課
白 菊 亘

治山・林道課に配属されて約7ヶ月経過しました。自分が最初に担当することになった土木工事は、山腹工事です。5月頃から工事の発注を始めましたが、最初は仕様書や図面など分からないことが多く、勉強の



毎日でした。しかし、係長や課長に分かりやすくご指導していただいたことにより楽しく学ぶことができ、やりがいを感じる事ができました。現在は、委託や工事の発注が一段落し、業者との協議等が多くなっています。難しい内容が多く大変な時もありますが、理解できたときの喜びは大きいです。まだまだ未熟ですが、自分から積極的に現場へ行き、一つでも多くのことを学び成長していきたいと思っています。

浜田県土整備事務所 治山・林道第一課
技師 柿 本 早 貴

私は一昨年度に林業技術職員として採用され、2年間本庁で木材利用関連の補助金事務などを担当し、今年から林道事業担当課に配属されました。

現在は、広域基幹林道と林業専用道の2箇所の開設工事の設計・監督を担当しています。森林施業だけでなく地域の人の生活道としても使われる前者と、主に森林施業で使われる後者とでは規格や構造に違いがあり、それぞれ道ができていく様子を比較できて勉強になります。



土木の知識がほとんどない状態で着任したので当初は不安でしたが、先輩職員から学ぶことがたくさんあり、楽しく感じています。これから様々な現場を担当して経験を積み重ねていきたいと思っています。

浜田県土整備事務所 治山・林道第二課
主任 木 下 勝

私は現在、浜田市内・江津市内の治山事業を担当しています。植栽や下刈等の森林整備から、荒廃渓流における谷止工の設置、法面が崩壊した箇所での山腹工の施工、海岸防災林を造成するための防風柵の設置など、様々な現場を監督しています。



以前までは林業普及業務を中心に担当しており、本格的に森林土木工事の発注や監督に携わるのは初めてです。現場立会では毎回、使用する機材や用語等の基本的知識から、受注者が安全かつ効率的に施工するためにどのような工夫をしているかなど、数多くの情報が得られます。

まだ監督員としては未熟ですが、習得した知識や経験をアウトプットしていき、より良く現場が完成するよう努めていきたいです。

益田県土整備事務所 治山・林道課
技師 羽 根 武 広

県職員3年目になる今年度から、ふるさとの益田に帰ってきました。昨年度までは西部農林振興センター県央事務所で林業普及を担当していました。

治山・林道事業を担当してから半年が経過し、土木は奥が深い分野だなと最近よく感じます。今まで何気



なく見ていた工事現場は、詳細な測量・設計を経て、綿密な協議を重ねながら、多くの方の協力を得て進んでいることを監督員の立場になって初めて知りました。安全で豊かな暮らしを守る治山事業、木材生産の基盤となる林道事業を通して、少しでもふるさとに貢献ができればと思っています。一日でも早く知識を身につけ、誰からも信頼されるような職員になれるように頑張ります。

益田県土整備事務所 治山・林道課
技師 森 岡 佑 介

県職員3年目、昨年度までは森林整備課森林保全グループで保安林や林地開発の業務を担当していました。森林保全の業務を通して、森林が維持・造成されるよう工事を実施する治山事業に興味を持ち、森林土木業務を希望し、益田県土配属になりました。



赴任してからは、聞いたことのない専門用語や、使ったことのないシステムに困惑し、慣れない日々を送っていましたが、益田県土の面白くて優しい先輩職員の皆様に丁寧に指導していただき、なんとか業務に取り組んでいます。雑な性格が故、仕事にミスも多いですが、日々の経験を重ねて幅広い森林土木技術を持つ職員になれるよう努力していきます。



島根県知事、島根県議会への要望活動

島根県森林組合連合会、（一社）島根県森林協会、（一社）島根県木材協会、島根県林業種苗協同組合は、令和3年10月24日、以下の5項目について丸山知事、松尾副知事、西村農林水産部長、前島農林水産部次長へ、また、9月27日には島根県議会へ要望活動を行いました。

<要 望 項 目>

- 1 台風や豪雨災害に係る林業関係被害の復旧事業及び、県民の生命財産を守る防災・減災、県土強靱化のための治山・森林整備事業予算の確保
- 2 コロナ禍・アフターコロナにおいても循環型林業が推進されるよう、取組を進める関係団体への指導と支援
 - （1）高まっている国産材需要に対応し定着させるため、川上・川中・川下が連携して取り組むサプライチェーンの構築
 - （2）ICT技術等を活用した機械導入など、の川上・川中・川下それぞれの機械整備によるスマート林業・木材産業の推進
 - （3）確実な再造林のための苗木生産者への支援及び再造林地におけるシカ等の獣害被害への対策強化
- 3 県産木材の需要拡大するために、公共建築物に限らず、民間建築物を含めた木造化・木質化の推進
- 4 林業の担い手確保に向けた、林業の魅力や森林・林業・木材産業のPR活動の拡大及び就労条件・環境の改善、安全対策のための支援
- 5 森林施業の集約化を進めるため、森林経営推進センターへの支援の継続

丸山知事への要望



島根県議会への要望



令和3年度 全国治山・林道コンクール

令和3年11月24日、一般社団法人日本治山治水協会、日本林道協会主催による治山・林道工事コンクールの表彰式が「海員クラブ 2階ホール」(東京都)で行われ、島根県から推薦した工事が、林野庁長官賞、一般社団法人日本治山治水協会長賞、日本林道協会長賞を受賞しました。

1. 第37回民有林治山工事コンクール

受賞区分 一般社団法人日本治山治水協会長賞

工事名 令和元年度復旧治山事業 橋の谷地区 溪間工事

受賞者 有限会社 住江建設 代表取締役 田中 雄二



2. 第22回民有林治山木材使用工事コンクール

受賞区分 一般社団法人日本治山治水協会長賞

工事名 令和元年度 海岸防災林造成事業(湊原) 森林整備工事

受賞者 島根県出雲県土整備事務所 農林工務部 治山・林道課



3. 第37回民有林林道工事コンクール

受賞区分 日本林道協会長賞

工事名 令和元年度 広域基幹林道整備事業 匹見美都線（橋梁下部工）工事

受賞者 前田建設有限会社 代表取締役 前田 隆雄



4. 第44回林道維持管理コンクール

受賞区分 日本林道協会長賞

路線名 嘉年坂（かねさか）線

受賞者 津和野町長 下森 博之



5. 第22回民有林林道木材使用工事コンクール

受賞区分 林野庁長官賞

工事名 令和元年度（補正）林道整備交付金事業 三子山線（第1工区）工事

受賞者 島根県益田県土整備事務所 農林工務部 治山・林道課



森林経営管理制度に係る職員研修及び推進連絡会議を開催

一般社団法人森林協会
森林経営推進センター

I はじめに

森林経営管理制度を運用する過程で、市町の担当職員の皆さんには意向確認や集積計画案への同意取得などにおいて森林所有者に対し制度の詳細を説明し、理解を得る重要な役割があります。

しかしながら市町の担当者は、農業や観光といった他分野との兼務が大半であることから制度理解の習熟を図る取組も当センターの重要な役割となっています。

令和3年度においても10月末までに職員研修及び推進連絡会議をそれぞれ2回開催し制度習熟に努めたのでその概要について報告します。

II 職員研修について

1) 第1回

日 時：令和3年7月28日（水） 10：00 から

場 所：林業会館 大会議室

目 的：活用することが森林経営管理制度上の基本となっている林地台帳については、常に精度向上に努めることとなっていることから、市町が精度向上のために行う更新すべきデータ等について再確認してもらう

講 師：① 林地台帳制度について

島根県 農林水産部 森林整備課 高橋 誠 氏

② 森林経営管理制度および林地台帳の円滑な運用にむけて

パシフィックコンサルタンツ株式会社

デジタルサービス事業本部 中村 尚 氏、大山 亮平 氏

2) 第2回

日 時：令和3年10月19日（火） 13：00 から

令和3年10月20日（水） 12：00 まで

場 所：林業会館 大会議室

目 的：森林経営管理制度の各種事務手続きについて習熟を図ると共に全国での取組事例を研究し制度運用に当たっての参考とする

講 師：① 森林経営管理制度の事務手続き

② 森林経営管理制度の全国取組

③ 集積計画の作成手続きの特例等

④ 森林環境譲与税の全国取組

林野庁 森林整備部 森林利用課 森林集積推進室長 川村 竜哉 氏



講演（第1回）の様子



講演（第2回）の様子

III 推進連絡会議について

1) 第1回

日 時：令和3年7月28日（水） 13：00 から

場 所：林業会館 大会議室

目 的：制度対象エリアの選定基準について、江津市の事例を研究し他の市町の基準作成の参考としてもらう

事例発表：① 江津市における森林経営管理制度の進め方

(対象森林エリアの選定基準)

江津市 農林水産課 森脇 龍一郎 氏

報告事項：① 県内の経営管理制度の取組状況

② 森林経営推進センターによる支援状況

2) 第2回

日 時：令和3年10月20日(水) 13:00 から

場 所：林業会館 大会議室

目 的：島根県の施策方針等について理解を深め、市町における森林・林業施策の立案の参考としてもらう

発 表：① 森林環境譲与税の有効活用等

島根県 農林水産部 林業課 山本 剛 氏、荒金 耕平 氏

② 水と緑の森づくり事業について(県独自課税)

島根県 農林水産部 林業課 萬代 邦行 氏

③ 市町村有林、市町村行造林地の主伐促進等について

島根県 農林水産部 森林整備課 高橋 誠 氏

報告事項：① 森林経営管理制度の進捗状況



事例発表(第1回)の様子



質疑応答(第2回)の様子

IV おわりに

戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎える中、島根県の木材生産量も増加傾向にあるなど、森林・林業・木材産業には明るい兆しが見られます。また、先の豪雨災害のように局所的な豪雨や山地災害の頻発などを背景に、森林の公益的機能に対する期待が高まり、森林整備の着実な推進が期待されています。

このような中で、森林の公益的機能の確保とこれを支える林業の成長産業化を実現するためには、森林経営管理制度による森林の経営管理の集積・集約化に加え、森林環境譲与税を活用した路網整備をはじめ、主伐後の再造林の推進、担い手の育成確保等の取組をさらに進める必要があります。

森林経営推進センターとしましても、こうした取組が一層進むよう会員である市町の皆様への支援を引き続き行って参りますのでよろしくお願いします。

最後に、皆様のご努力により制度活用が少しずつ進んできました。以下の表のとおり累計で7市町約60haの森林を民間事業体に再委託することが出来たのでお知らせします。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	市町村名	面積(ha)	市町村名	面積(ha)	市町村名	面積(ha)
経営管理 権の設定	浜田市	6	川本町	2	江津市	8
	安来市	3	大田市	3	吉賀町	7
	出雲市	11	邑南町	31		
(経営管理 権集積計 画の公表)	小計	20	小計	36	小計	15
経営管理 実施権の 設定			浜田市	6	川本町	2
			安来市	3	大田市	3
					邑南町	31
(経営管理 実施権配 分計画の 公表)					江津市	8
					吉賀町	7
	小計		小計	9	小計	51

表 令和3年10月末現在の制度活用状況

治山と林道 2021 No.125

発行 令和3年12月

編集 一般社団法人島根県森林協会

島根県松江市母衣町55番地

電話 (0852) 21-2669 FAX (0852) 21-2231

<http://shinrin@shimane.jp/>

E-mail : kyoukai@shinrin-shimane.jp

印刷 東京印刷株式会社